

6月市議会にむけみなさん ご意見ご要望をお寄せください

2025年度の川口市議会 6月定例会が6月2日(月)に開会予定です。
6月市議会に請願の提出を予定する方は5月26日(月)が締切となります。
また、日本共産党川口市議団からは金子ゆきひろ議員、ふじしまともこ議員が一般質問を行う予定です。
みなさんから寄せられた声を市政に届けてまいります。ぜひくらしのお困りごと、市政へのご意見ご要望など日本共産党川口市議団へお寄せください。

6月市議会の日程(案)	開会	6月2日(月)
	一般質問	6月11日(水)～13日(金)
		6月16日(月)～17日(火)
	常任委員会(総務)(建設消防)	6月19日(木)
	常任委員会(福祉保健)(環境経済文教)	6月20日(金)
	閉会	6月25日(水)

※日程は予定であり、変更となる場合もあります。正式な日程は、5月28日(水)開催予定の議会運営委員会で協議されます。
本会議・委員会はいつでも傍聴できます。また本会議は、インターネット中継でご覧いただけます。

【特別委員会の開催予定】

都市基盤整備・危機管理対策特別委員会	5月21日	13:30～
地域活性化・生活環境向上特別委員会	5月22日	13:30～
保健医療・子ども家庭支援等福祉対策特別委員会	5月21日	13:30～
未来創造・教育力向上特別委員会	5月20日	13:30～



金子ゆきひろ 松本さちえ 板橋ひろみ ふじしまともこ

2025 年 5 月 11 日 No.1788
日本共産党川口市議会議員団
川口市前川 2-28-10
TEL.267-8411 FAX.261-3528
<https://www.kawaguchi-jcp.jp/>

知^っ得^得情報 令和7年度5月 市営住宅入居者募集

5月1日(木)から21日(水)まで(5月21日(水)の消印有効)

市営住宅への入居を希望される方は、市内各支所などで申込書同封の「入居者募集のしおり」が配布されますので、内容をよく確認のうえ、郵送でお申し込み下さい。
お問い合わせは、川口市営住宅入居サービスセンターまたは、日本共産党市議団までご相談を。

埼玉県住宅供給公社 川口市営住宅入居サービスセンター
川口市三ツ和 1-14-3 (鳩ヶ谷庁舎 1 階) 受付時間: 8 時30分～17時15分
電話:048-729-5967 ファックス:048-283-8117

「入居者募集のしおり」の配布場所について

第一本庁舎 2 階総合案内、第二庁舎 1 階ロビー
市内各支所(新郷、神根、芝、安行、鳩ヶ谷)、川口駅前行政センター
各駅連絡室(西川口駅、蕨駅前芝、鳩ヶ谷駅)、東川口駅前行政センター
川口市営住宅入居サービスセンター
鳩ヶ谷庁舎 1 階受付、4 階住宅政策課

申込書類について

- 障害者世帯に該当して優遇世帯区分で申し込まれる方は、優遇世帯に該当することが分かる手帳の写しを必ず添付してください。手帳の写しがない場合は優遇区分にチェックが入っていても、優遇区分の取り扱いになりません。
- 自主避難者世帯に該当して優遇世帯区分で申し込まれる方は、優遇世帯に該当することが分かる居住実績証明書の写しを必ず添付してください。証明書の写しがない場合は優遇区分にチェックが入っていても、優遇区分の取り扱いができません。
- 複数回落選世帯で、離婚などにより名義人の苗字が変わった場合は「その他」欄に必ず明記してください。

第96回川口地区メーデー



今年の川口地区メーデーは18の団体250人が参加しました。去年は雨でしたが今年は天候に恵まれた上に若い人の参加も多かったです。日本共産党から山崎県議と川口市議団も参加しました。

川口市から集まった労働組合や市民団体から、有志が各団体ごとにマイクを回して主張をしました。各団体気合の入った主張をされプラカードや横断幕も力作ぞろいでした。

「いのちと暮らしを守り、「憲法」を生かす政治への流れをつくり、国民要求実現を勝ち取る為に選挙闘争に勝利しましょう。」とメーデー宣言が読み上げられ、団結ガンバローの声出しを行いました。そして西公園を出て「インボイスは廃止しろ」「マイナ保険証の押し付け反対」「年金額を引き上げろ」などシュプレヒコールを上げながら川口駅周辺を約1.3km歩くデモ行進が行われました。

日本国憲法を掲げて戦争のない世界を 憲法大集会に38,000人参加

「未来は変えられる！戦争ではなく、平和な暮らし！2025憲法大集会」が、憲法記念日の5月3日(土)東京の有明防災公園で開催され、日本共産党川口市議団からも金子ゆきひろ市議、ふじしまともこ市議が参加しました。

開会挨拶に立った菱山南帆子さん(戦争させない・9条壊すな！総がかり行動実行委員会)は「10年前の2015年の憲法大集会は分断を乗り越えて結集して、その力が安保法制許さない大きな力となった」と発言。



その後のスピーチでは、ノーベル平和賞を受賞した日本被団協の田中熙巳さんは「核兵器が実際に使われる危険性がある現代において、その危機感から一貫して核廃絶を訴えてきた被爆者たちに光が当てられたと分析している」と発言、元経産省官僚の古賀茂明さんは「アメリカとの関係だけで、そして軍事的対応だけで判断せずに視野を広げて対応する政府に」と訴えました。

政党からは、立憲民主党の辻元清美代表代行は「衆議院で議論されている緊急事態条項は、自民・公明含め、必要ないというのが参議院の意見」と訴え、日本共産党の田村智子委員長は「憲法を掲げて戦争の心配のない東アジア、平和をつくる」と訴えました。

社民党の大椿ゆうこ副党首は「自身が雇い止めにあい、労働組合と日本国憲法に出会った。憲法はどんどん国民が使っていくもの」と訴えました。その他、れいわ新選組のくしぶち万里共同代表、参院会派「沖縄の風」のイハ洋一参議院議員も挨拶しました。

憲法大集会には昨年を上回る38,000人が参加しました。